

小諸市名誉市民のご逝去について

元小諸市長 塩川 忠巳 様

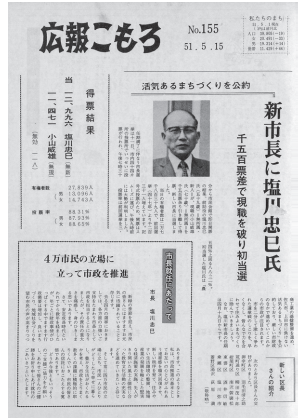


小諸市名誉市民である、元小諸市長塩川忠巳様（100歳）が、4月6日（木）午前3時17分に逝去されました。
塩川様には、昭和51年4月から平成8年まで5期20年の長きにわたり、市長として小諸市の発展にご尽力いただきました。
ここに、生前のご功績を偲び、謹んでお知らせいたします。
なお、ご本人の生前の意向ならびにご遺族の申出により、小諸市名誉市民条例に基づく市公葬は行わないことといたしました。

広報こもろ 平成8年5月
塩川市長退任



広報こもろ 昭和51年5月
塩川市長就任



塩川様は、小諸市長としての20年間、市政推進の牽引役を務められました。市民憲章に謳われる「生きがい、働きがい、住みがい」のある小諸市の構築にまい進され、各種事業を成し遂げ、産業・経済・教育・文化の振興、市民福祉の増進等、各般にわたって小諸市発展のための礎を築かれました。
平成8年には日本の勲章の一つである「勲四等旭日小綬章」を受章され、その後、平成10年に小諸市名誉市民の称号が贈られました。
昭和51年4月の市長選挙で初当選を果たした塩川様（当時59歳）は、所信表明で「住みよい生活環境の整備、地場産業の発展を軸とした堅実な経済施策の実施、先人が開いた風土と個性に合った教育文化活動の充実などを進めてまいりたい」と述べられました。退任される際も小諸市の更なる発展を願う気持ちを述べられるなど、塩川様が小諸市を想う様子が当時の広報こもろから伺えます。
ご冥福をお祈りいたします。

大盛況!!

大勢の皆様にご来場いただきありがとうございました!

『ジャムに恋する2日間』

本イベントは、日本ジャム工業組合と小諸市が「ジャムの日（4月20日）」を広めるために企画し、実施しました。



1日目

- ・ジャムの日にまつわる講演
- ・小諸音楽会



「小諸とジャム産業の歴史を知ろう」をテーマに、第1部の講演会では、小諸市がいちごジャム発祥の地といわれる所以について、市長と榊明治屋曾我様に講演していただきました。

第2部では、小諸音楽会と題し、「コールフローラ小諸」「小諸高校音楽科」の皆様による小諸ゆかりの音楽や春を感じさせる音楽が会場に響き渡りました。

2日目

- ・全国のジャム大集合! 展示販売
- ・ジャムでお絵かき体験



「ジャムをもっと身近に」をテーマに、日本ジャム工業組合加盟の全国のジャムメーカー、市内の農家さんと販売者の50種類を超えるジャムの展示販売がされました。試食も用意されたため、お好みのジャムが見つかったのではないのでしょうか。

また、ジャムでお絵かき体験は、色とりどりのジャムを使ってヨーグルトをキャンバスに花や果物などの絵を描いたあと、おいしく召し上がっていました。